

はなみずき

第13号

(平成24年10月号)



■ 地域医療の充実を目指して ～大腸肛門外科の取組み(ERAS)～

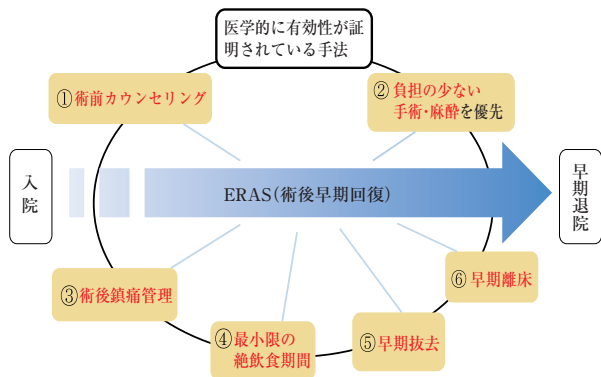
当院の大腸手術は腹腔鏡下手術を原則とし、平成20年1月から術後回復強化(enhanced recovery after surgery:ERAS)プロトコルを導入し、実践しています。**ERASとはこれまでの周術期管理で効果があることを包括的に取り入れ、医療チームで早期回復を目指す取り組みのことです。**具体的には術後の回復を促進するため、術前の説明や腸管前処置の中止、硬膜外麻酔による疼痛管理、術中術後の輸液制限、術直前の炭水化物飲料の摂取、早期離床、早期経口摂取開始など様々な手法をすべて一括して導入します。この取組みにより合併症の減少と入院期間の短縮が学術的にも証明されています。



消化器外科部長 太田 博文

食事は手術翌朝から可能で、当院のERAS管理で大腸手術を受けた患者さんの多くは手術翌日の夕方には座ってテレビを見ながら食事をしています(点滴不要)。また、持続硬膜外麻酔による痛み止めによって痛みが抑えられていますので動きやすく、歩行も十分にできますので術後2日目から患者さんに合わせてリハビリも開始しています。導入前、リハビリは患者さんが痛がって無理かもしれないと想像しました。しかし、反応は逆でした。患者さんからは「**少し汗がでて気持ちが良かった**」や「**動けることがうれしい**」といったお声を聞くことができました。リハビリで気持ちも上向き、身体の回復がさらに早くなるような相乗効果をもたらすようです。当院では万歩計を術前、術後に装着していますので回復の度合いが客観的に測定できます。術後でも動き方が大胆になり、3～4日もすれば1日5000歩以上歩く患者さんも普通におられ、運動強度がリハビリによって上昇することも確認しました。したがって、1週間以内で退院が可能で、早い社会復帰も可能になります。当院のERASの成果は医学雑誌、学会で数多く発表されています。実際にERAS管理で大腸手術を受けられた患者さんの動画やERASの詳細は当院のホームページを見ていただければわかりいただけますので是非、ご覧になってください。

また、毎週金曜日の大腸肛門外来では大腸疾患はもちろん、肛門疾患の患者さんも数多く来院されます。当院は肛門外科にも力をいれており、痔核、痔瘻、裂肛、直腸脱の患者さんを多く診察しております。内痔核手術は、原則、再発率が少ないことなどから根治手術をいたします。その他、痔瘻や直腸脱の専門的な疾患も多くの開業医の先生からご紹介を受け、根治手術を行っていますので是非、ご相談にいらしてください。



当院ご利用案内

診療受付時間

☆月～金曜日 8:30～11:30 12:30～14:30
☆土曜日 8:30～11:30
☆休診日 日、祝、12/31、1/1、1/2、1/3(年末年始)
・学会・出張等で、担当医師が休診又は代診となる場合があります。 予めご了承下さい。

初診の方で紹介状をお持ちでない方には、別途保険外併用療養費として、3,150円いただきます。
歯科・口腔外科、耳鼻咽喉科、心療内科、神経内科への受診は、予約の上紹介状が必要となります。
詳しくは当院ホームページの外来診療のご案内をご覧ください。

医療相談窓口

患者さんやご家族の方々から下記のような様々なご相談をお受けしています。
誰に相談していいかわからないことがあれば、まずは医療相談窓口にご相談ください。

- (1)医療に関すること
- (2)当院での受診に関すること
- (3)病院に対するご意見、ご要望、苦情等に関すること
- (4)個人情報保護に関すること
- (5)医療安全に関すること

なお、医療相談窓口でお受けしたご相談内容でご希望があれば、日時を調整の上当院の第三者委員を交えて相談することができます。



**口腔がん 白板症 歯周病
口腔創部(抜歯後)の治癒遅延
口臭 メラニン色素沈着**

当科の診療は3つの柱(地域医療施設、院内紹介、大阪大学連携)で構成されております。その中心となるものが、地域の先生方から紹介で受診される患者さんです。当然のことながら、患者さんは非喫煙者からヘビースモーカーまで千差万別です。今回は、タバコと口腔疾患との関係についての話題です。

喫煙と肺がんはイメージしやすい関係です。でも、タバコの煙はまず、口腔を通過しますので、口腔にも様々な悪影響(病変)が生じることがあります。

<<口腔がんの危険性>>

日本の口腔がん死者は年間5000人程度ですが、近年増加傾向とされています。喫煙率に比例してなのか、男性の罹患数が女性の3～4倍多く、部位別としては舌がんが最多の約6割を占めます。これに、歯肉、頬粘膜、口底が続きます。平成2年の資料ですが、日本男性における喫煙と口腔がん死亡についての相対危険度(非喫煙を1とした場合の現在喫煙者のリスク)は3.00です。これに飲酒が加わると相乗効果でさらに口腔がん発症の危険度が増すと考えられます。

口腔がん治療については、必要に応じて近接する大阪

大学歯学部第2口腔外科と連携をとっております。また、大学を受診した患者さんの治療を当科で請け負うこともあります。治療内容は、手術のみならず、機能温存を目指して、腫瘍栄養動脈に高濃度の抗がん剤をカテーテルより注入する「動注化学療法」を5年前より導入しています(適応を考慮したうえで行います)。

喫煙の有無にかかわらず、口腔内で気になるしこり、治らない潰瘍、ざらざらとした白斑などがありましたら、当科を受診下さい。かかりつけ医院・歯科医院で御相談の上、紹介状をお持ちになって下さいますと、診療が円滑に行えます。

<<喫煙者の歯周病の特徴>>

- ・☒進行しても炎症症状歯肉の赤み・腫れ・むくみが軽い
- ・☒同年代の非喫煙者の歯周病よりも重症化しやすい
- ・☒歯周病治療の反応が悪い

上記のように、喫煙者の歯周病は症状がマスクされるため、重度になりやすく、また、治療の反応性も悪いため、抜歯に至るケースが多くなることが考えられます。抜歯後の治りが遅く、痛みが長引きがちです。

歯周病や虫歯治療などの一般歯科治療は、かかりつけ歯科医院での治療をお願いしておりますので御了承下さい。なお、抜歯などの観血的処置を当科行うことが望ましいと歯科医院で判断された場合は、紹介状をお持ちになって下さいますようお願いいたします。

■ 歯科医師の紹介

歯科口腔外科医長 今井 智章 (いまい ともあき)

【プロフィール】

経 歴：大阪大学歯学部卒業(1999年)
大阪大学大学院歯学研究科博士課程修了(2003年)
大阪大学歯学部附属病院・第2口腔外科
市立伊丹病院・歯科口腔外科
認 定 医：日本口腔外科学会 専門医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医(歯科口腔外科)
所属学会：日本口腔外科学会、日本口腔科学会、日本癌治療学会、日本口腔腫瘍学会



無料低額診療事業の 相談について(ご案内)

当院は社会福祉法人の病院であり、社会福祉法に規定された経済的な事情により必要な医療が受けられない人々に対して適切な医療を受けることができるように支援することを目的とした無料低額診療事業を行っています。

「急な入院で支払いができない」「介護もしているので、費用負担が重い」「非課税世帯で収入が少ない」「障害者手帳を持っていて医療費助成制度の対象になっている」など医療費の負担ができないといった相談を具体的に解決していきます。また、さまざまな保険制度に関することや医療費の支払いに関する相談も受け付けています。相談は、産科・婦人科の奥にある福祉相談室にてソーシャルワーカーが承っています。

このほか「介護が必要になりそうだが、どうしたらいいかわからない」「がんで治療をしているが、今後のことについて情報提供してほしい」「離れて暮らしているので、一人暮らしの父親のことが心配だ」などの生活に関する相談も受け付けています。

福祉相談室受付時間：平日午前9時～午後4時・土曜9時～12時(受付状況によりお待たせする場合があります、ご了承下さい。)

■ 医療の提供の結果に関する事項(厚生労働省「医療広告ガイドライン」に準拠)

項 目	単位	H23年 8月	9月	10月	11月	12月	H24年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
新 入 院 患 者 数	人	831	716	795	776	796	766	799	805	790	780	785	864
退 院 患 者 数	人	806	742	779	763	873	664	825	822	802	761	838	792
在院患者数(24時現在)	人	8,994	8,669	9,011	8,759	8,845	9,341	8,763	8,870	9,126	8,637	7,854	8,543
1日平均在院患者数(※1)	人	316.1	313.7	315.8	317.4	313.5	322.7	330.6	312.6	330.9	303.2	289.7	301.1
平均在院日数(※2)	日	10.7	11.5	11.2	11.3	10.5	12.7	10.6	10.7	11.2	10.8	9.5	10.2

(※1)退院患者数+在院患者数(24時現在)を暦日数で割ったもの。(※2)在院患者数(24時現在)を(新入院患者数+退院患者数)/2で割ったもの。

医療の
豆知識

放射線と医療と被曝リスク(その2)

前回、放射線とその影響についてお話しましたが、今回は一般的な検査や治療の被曝とリスクについてお話したいと思います。

まず、表1に医療機関でよく行われる検査と被曝量を示します。

(表1)検査と被曝量

人体への 影響 小 ↓ 大	検査	被曝量
	歯の撮影	2~10 μ Sv
	胸部撮影(主に肺や心臓などの観察)	0.06mSv
	骨密度測定	70 μ Sv
	乳房撮影(乳腺に対して)	1~2mGy
	胃の検査(バリウムを飲む)	3mSv
	RI(核医学)	0.5~15mSv
	CT 検査	5~30mSv
	IVR(心臓カテーテルや血管造影)	7~30mSv

※単位の Sv(シーベルト)はGy(グレイ)に影響の度合い(係数)を掛けたもので
X線の場合、係数は“1”なので両者は同じ影響であると考えます。

※ μ Sv(マイクロシーベルト) : mSv(ミリシーベルト)の千分の一

以上の数値はあくまで目安であり、皆さんが検査を受けるときの被曝線量は増減することがあります。それは、撮影・検査する部位や体格(大人と子供など)によって私達、診療放射線技師はエックス線の強さや量を必要最小限に調整しているからです。

疫学的(人間集団に発生する病気を観察して、その病気の原因を究明する学問)に1年200mSv以下の被曝で将来、癌を発病するなどの明らかな異常は発生しないと言われています。

一番影響が出やすい妊娠初期の被曝についても国際放射線防護委員会(ICRP)は『100mGy以下の被曝で胎児の放射線被曝を理由に妊娠中絶をする必要はない。』としています。通常の検査や治療で200mSvを超えることは考えにくいことです。医療被曝に上限はありませんが、医師は被曝によるリスクが“0”でない前提で検査や治療のメリットが上回ると判断したうえで撮影等の依頼をしています。

世界の中で日本の医療被曝は多いと言われていますが、長寿国であることも間違いありません。私は日本の医療被曝が早期発見、早期治療に大きく貢献している証拠だと思っています。十分な説明を受け安心して検査を受けたいと思います。

以上、皆さんの検査・治療時の被曝の不安解消に少しでも役立つことが出来れば幸いです。

放射線部技師長 藪之内 照明



今年9月に更新したIVR装置

社会貢献事業

～釜ヶ崎地区健診事業の報告～



済生会は、今から100年前、明治天皇の済生勅語によって創立された組織で、施薬救療によって済生の道を広めるよう、さまざまな社会貢献活動を実施しています。

当院も先日「釜ヶ崎地区健診事業」を実施しましたので、そのご報告をします。

この事業は、大阪府済生会の8病院が毎年9月に釜ヶ崎地区に出向き、現地の高齢日雇い労働者を中心に、無料で健康診断(問診、血圧測定、血液検査)をおこなっている事業で、今回で4回目になります。(釜ヶ崎地区とは大阪西成区のあいりん地区とも呼ばれている地区で、釜ヶ崎という地名は現在はありませんが、NPO法人釜ヶ

崎支援機構と連携して実施している事業なので、済生会では本事業を「釜ヶ崎地区健診事業」としております。)

今年は、当院が主担当病院として準備と当日の調整業務をおこないました。健診は、9月10日から14日までの5日間、天候にも恵まれ、約900名の健康診断を延べ約250名の職員を動員し、実施できました。当院からは約40名が参加しました。健診を受けた約900名の内、約70名が高血圧で健診当日に、主に大阪社会医療センター等の医療機関へ受診になっています。志願して参加した研修医からは「病院の外来場面では、遭遇しないほどの高血圧に驚きました」という声が出るほど高血圧の方がいらっしゃいました。

今後血液検査の結果を踏まえ、A(指摘無し)～C(要治療)に判定し、10月にC判定の方には医師が指導を兼ねて検査結果をできる限り手渡しする予定です。

現地での支援団体であるNPO法人釜ヶ崎支援機構では、その後も、必要な方に治療を受けてもらうだけでなく、その後の生きがい作りにも関わってゆけるよう、息の長い働きかけをされます。

「済生」とは、生命を救うことという意味だそうです。当院は、設立の理念に乘っ取り、今後も社会貢献事業を展開していきます。

なでしこプラン推進室 室長 松井 久典

行事予定

済生会千里病院

平成24年

10月～12月

※変更になる場合があります。
予めご了承下さい。



■大阪府AED・BLS講習会（※要予約）

【日時】 10月10日(水) 12月12日(水) 13時～17時

【開催場所】 病院東館3階講堂 【お問い合わせ】 大阪ライフサポート協会事務局 06-6370-5883(10時～17時)

■糖尿病教室

【日時・演題】 10月3日(水)「糖尿病の合併症」

11月5日(月)「糖尿病の運動療法」「低血糖について」

12月3日(月)「年末年始の食事療法」 ※いずれも13:00～14:00

【開催場所】 病院東館3階研修室 【お問い合わせ】 栄養科 06-6871-0121 内線208

■肝臓病消化器病教室（※要予約）

【日時・演題】 10月22日(月)「C型肝炎について」 15:00～

12月 未定

【開催場所】 病院東館3階 研修室 【お問い合わせ】 なでしこプラン推進室 06-6871-0121 内線603
または当院総合受付2番窓口(先着40名)

■北千里地区公民館主催健康講座

【日時・演題】 11月17日(土)13:30～16:00 「最新の痛みが少なく安全な人工膝関節手術について」「頭痛について」

【開催場所】 北千里地区公民館 2F 大会議室 【お問い合わせ】 なでしこプラン推進室 06-6871-0121 内線603

■南千里地区公民館主催健康講座（※要予約）

【日時・演題】 12月8日(土)13:30～16:00

「大事な家族が倒れた時あなたは蘇生処置ができますか? 公演中にしっかり覚えて貰います!」「のむ内視鏡(カプセル内視鏡)」

【開催場所】 千里市民センター 大ホール 【お問い合わせ】 なでしこプラン推進室 06-6871-0121 内線603

■母親教室（※要予約）

助産師が妊娠後半期のマイナートラブルや分娩経過・入院方法について分かりやすく説明しております。
ご家族の参加もお待ちしております。

【日時】 毎月2回(第1木曜日・第3土曜日)

【開催場所】 病院病棟3階デイルーム 【問合せ先】 産婦人科外来 06-6871-0121

セカンド・オピニオンについて

他院の病院で治療を受けられている方が、当院の医師に意見を聞きたいというご希望に応える為に、セカンド・オピニオン外来を行っております。

【お問合せ】

1階総合受付カウンター (医事課)

患者さんへのお願い

- 療養環境向上の為、敷地内禁煙となっておりますのでご理解いただきますようお願いいたします。
- 携帯電話のご利用は「携帯電話エリア」にてお願いします。なお職員が使用しております携帯電話(赤色ストラップ付)は、一般の携帯電話とは異なるものです。

卒後臨床研修病院について

当院は臨床研修医に対する教育病院(臨床研修病院)です。

指導医の指導の下、日々研鑽を積みながら患者さんの診療に当たっております。臨床研修医に対し、お気付きの点があれば、何なりとご意見をお寄せ下さい。

済生会千里病院の理念

「心のこもった医療」

基本方針

私たち、済生会済生会千里病院の職員は、

- 1.窮境にある人々の医療を積極的に支援します。
- 2.安全で良質な医療を心をこめて提供します。
- 3.医療の透明性とアカウンタビリティ(説明責任)に忠実である病院を実現します。
- 4.地域の中核病院として、また救急医療を含む急性期医療の実践により地域医療に貢献できる病院を実現します。
- 5.常に研鑽を積み、最高、最適の医療を追求します。

職員の信条

私たち職員は、患者さんのために、地域のために、心をこめて最高最適の医療を提供します。

個人情報保護方針について

個人情報保護法の趣旨を尊重し、患者さんの個人情報を厳重に管理し、これを担保するために「個人情報保護方針」「個人情報保護規程」「個人情報保護計画」を定めております。

患者さんの権利と責務

(患者さんー医療者のパートナーシップの強化)

- 1.どなたにでも常に人格を尊重し、良質で安全な医療を公平に提供します。
- 2.あなたの病気やその診療について、わかりやすい言葉で詳しく説明をするよう努めています。もし、わからないところがあれば質問してください。
- 3.あなたが、気になること、疑問に思うこと、希望することなど、遠慮なくご相談下さい。
- 4.他の医師の意見(セカンド・オピニオン)や他の医療機関に転院を希望される場合は、おっしゃってください。
- 5.治療方法などをご自分の意思で決めていただけるよう、十分な説明と情報提供を行います。
- 6.診療の過程で得られた個人情報の秘密を守ります。また、病院内での私的な生活が、可能な限り他人にさらされず、乱されないように努めます。
- 7.良質な医療を提供するため、あなたの健康に関する情報をできるだけ正確に伝えていただくようお願いします。
- 8.すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、他の患者さんの診療に支障をきたさないよう、ご配慮をお願いします。
- 9.お互いに理解を深め、ともに治療を進めていきましょう。



地域医療支援病院

社会福祉法人

恩賜
財団

大阪府済生会千里病院

(編集・発行)経営企画課

〒565-0862 大阪府吹田市津雲台1丁目1番6号 TEL.06-6871-0121(代)
ホームページ <http://www.senri.saiseikai.or.jp/>

■ 本紙についてのご意見・ご感想などございましたら、下記までお寄せ下さい。

E-mail: hanamizuki@senri.saiseikai.or.jp (右のQRコードからもアクセスできます)

